2024年5月18日(土) 楽しい俳句教室②

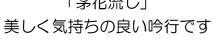
「立夏」を迎え、夏らしくなってきた公園で俳句を詠みます。 今回の吟行は発見も多かったようです。



「蜘蛛の子」の団居(まどい)つつくとサッと散るのが面白い!



















ノ知珠の子や塊まりゆる教をすると、野宝田とあり突いて知珠の子を勝する野ですると、手宝に庭石首かがかけると、青宝に庭石首がかかけると、青宝に庭石首がかかけると、青宝の光がやくつばながなる。青まの光がやくつばながなる。青まの光がやくつばながなる。青まの光がやくつばながなる。青まのからである。

興味を持ってみれば苦手だった「蜘蛛の子」もかわいく見えてきます。 好奇心を持ち続けることが大事ですね。